

資料7

令和7年度

取扱注意

モアショロ原野螺湾足寄停車場線
モアショロ原野地区の環境影響に関するワークショップ
(第1回)

令和7年8月26日(火)

北海道十勝総合振興局 帯広建設管理部

令和7年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線
モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

1. 植物追加調査(蘚苔類)についてP2
2. その他 P9
 - (1) 令和7年度 第1回オンネトー地区道路環境保全会議について
 - (2) 令和7年度 環境調査について
 - (3) 令和7年度 足寄高校防災授業について
 - (4) 環境省および十勝東部森林管理署との協議について

1.植物追加調査(蘚苔類)について

令和7年度 植物調査(蘚苔類)内容

関連する過年度の植物調査(蘚苔類)

平成29年度

- ・国立公園指定種であるヒカリゴケ、ミズゴケ属のホソバミズゴケ※1を確認
※1 阿寒摩周国立公園指定植物リストでは「ミズゴケ属」として指定
- ・重要種※2でもあるヒカリゴケの分布状況は把握しているが、国立公園指定種のホソバミズゴケの分布状況は把握できていない
※2 北海道および国のレッドリスト記載種

令和6年度第2回WS

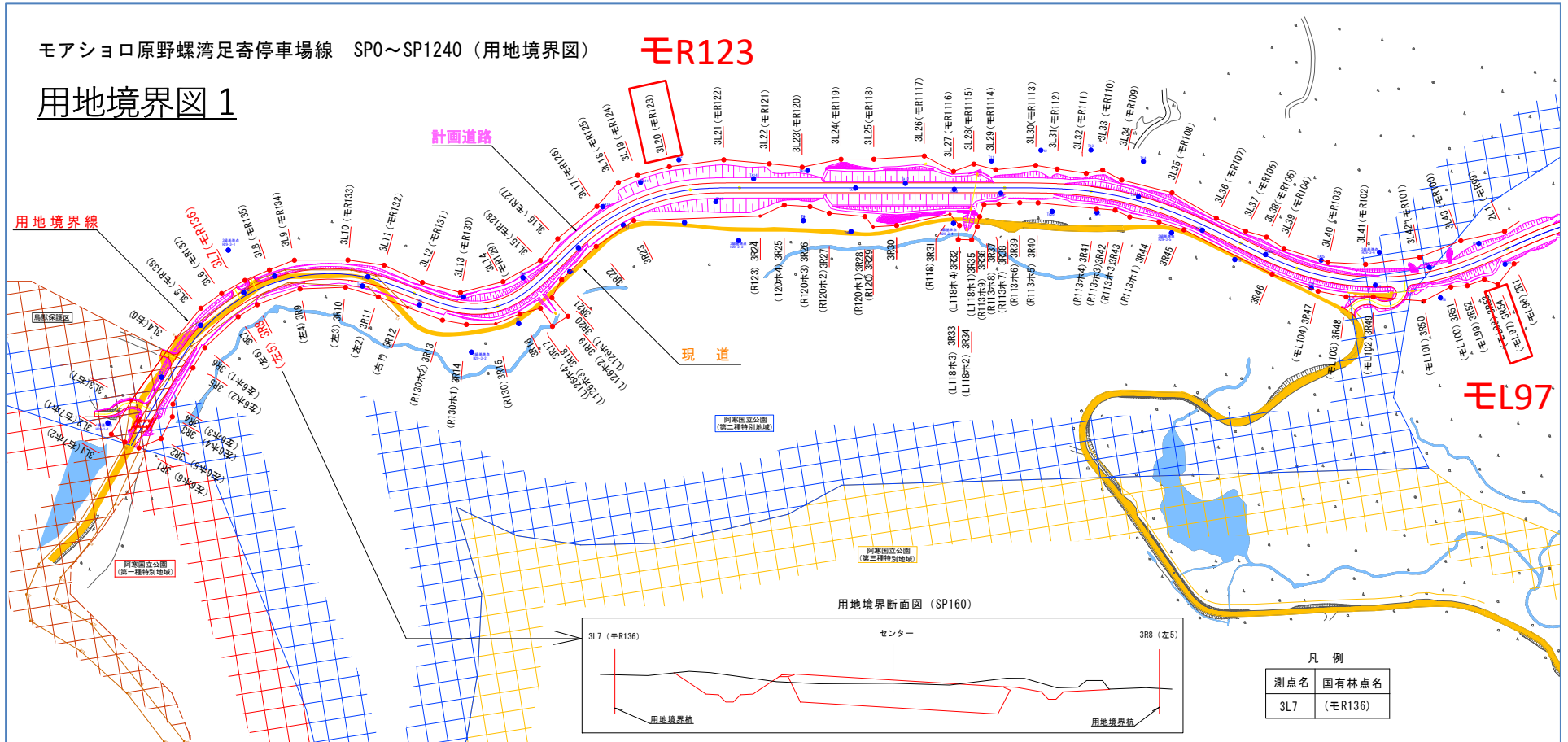
- ・事業箇所において、ミズゴケ属のうちゴレッツミズゴケの生育情報を新たに入手

今年度の植物調査(蘚苔類)

- ・ミズゴケ属のうち、事業箇所での生育は確認されているが分布状況が把握できていないホソバミズゴケとゴレッツミズゴケを対象に、現地調査を計画

令和7年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

十勝自然保護協会による蘚苔類ゴレツミズゴケ確認位置



調査計画立案に向けた乙幡学芸員への聞き取り(令和7年5月8日)

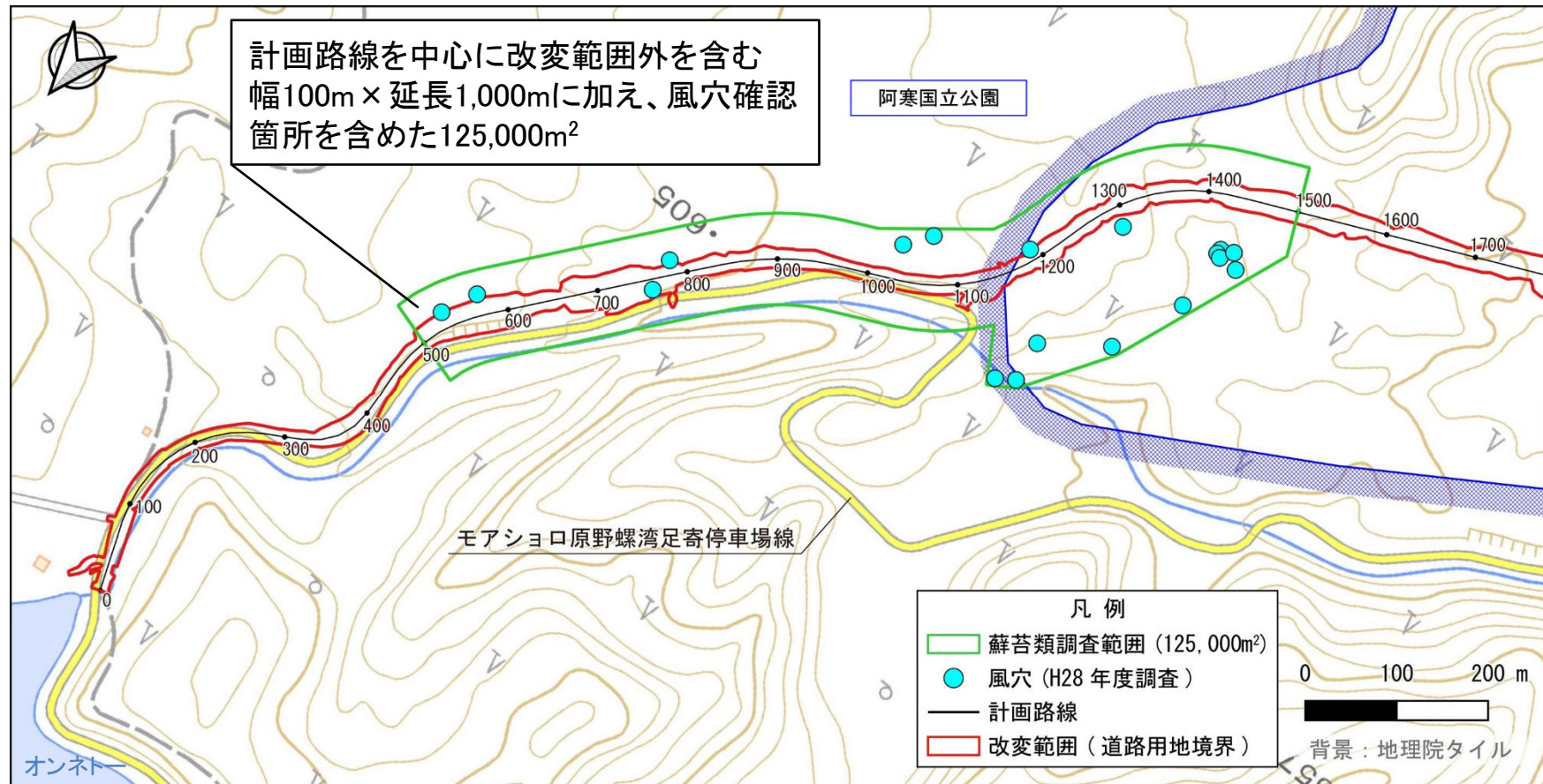
1. 事前に指導を受けてミズゴケ属の確認調査を実施することは可能か
→ ゴレツミズゴケとホソバミズゴケの2種であれば調査は可能である
2. ゴレツミズゴケとホソバミズゴケの見分け方を教えていただきたい
→ ゴレツミズゴケは植物体が赤みを帯びることと、枝葉の列がそろっていることから、ホソバミズゴケと識別可能である
3. 対象とするミズゴケ属2種の確認に適した時期はあるか
→ 両種の調査はどの時期でも行える
(ゴレツミズゴケは常に赤い色をしている)
4. 対象とするミズゴケ属2種の生育場所や探すポイントを教えていただきたい
→ 両種は類似した環境に生育する
谷底や斜面の水が滴るような湿った所で、アカエゾマツ林のエゾイソツツジの根元で見られることが多い

令和7年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

蘚苔類調査計画(案)

調査場所

- ・風穴※が多く、ミズゴケ属(ホソバミズゴケ、ゴレツミズゴケ)の生育の可能性が高い
範囲 ※平成28年度調査で確認



令和7年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線
モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

蘚苔類調査計画(案)

調査時期

- ・9～10月に1回実施



ゴレツミズゴケ

※ 乙幡学芸員から聞き取った生育位置情報をもとに現地で確認

調査方法

- ・調査範囲内を踏査し、ミズゴケ属(ホソバミズゴケ、ゴレツミズゴケ)を確認
- ・確認位置、群落の大きさ、生育環境等を記録

調査計画に対する乙幡学芸員のコメント

- ・基本的に問題なし
- ・ミズゴケ類は風穴以外にも過度な水分環境下にも出現するため注意する